

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学産科婦人科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年11月 福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 講座主任
藤森 敬也

【研究課題名】

卵巣癌におけるケモカイン/ケモカインレセプターの発現様式と、予後の関連についての検討

【研究期間】

平成30年11月～令和6年10月

【研究の意義・目的】

進行卵巣癌の治療戦略は初回手術と術後化学療法あるいは術前化学療法に続く腫瘍減量手術です。Ⅲ期あるいはⅣ期においては2年以内に55%、5年以内に70%とその多くが再発し、治療に難渋します。卵巣癌において、体内の免疫反応に関与するタンパク質であるケモカインの1つであるC-C motif chemokine ligand-2 (CCL2) およびその受容体であるCCR2の作用が注目されつつあります。今回は卵巣癌の予後とCCR2をはじめとしたケモカインレセプターおよびケモカインの関連に着目し、進行卵巣癌初回手術（卵巣および大網）および再発卵巣癌手術（摘出再発腫瘍）におけるケモカイン/ケモカインレセプターの発現と、実際の予後の関連における検討を行うことにしました。

【研究の方法】

対象は2004年1月1日から2019年12月31日の16年間に、本学附属病院において卵巣癌に対して初回根治手術および再発腫瘍切除術を施行した患者さんです。病理組織標本のケモカイン/ケモカイン受容体の免疫染色を行います。同時に、電子カルテで患者さんの予後を調査します。データ整理して、免疫染色の所見と、予後の関連を検討します。この時期においては、進行卵巣癌の患者さんに対しては手術と化学療法（パクリタキセル+カルボプラチンという抗癌剤）を標準治療として行っていました。治療の条件がほぼ一緒であったため、対象者とさせていただきます。

【研究組織】

(所属)	(職)	(氏名)
産科婦人科学講座	教授	藤森敬也
産科婦人科学講座	講師	古川茂宜
産科婦人科学講座	准教授	渡邊尚文
産科婦人科学講座	教授	添田周
産科婦人科学講座	助手	植田牧子
産科婦人科学講座	助手	遠藤雄大
産科婦人科学講座	助手	加茂矩士
産科婦人科学講座	助手	佐藤哲
産科婦人科学講座	助手	岡部慈子
産科婦人科学講座	助手	加藤麻美
病理病態診断学講座	教授	橋本優子
地域産婦人科支援講座(いわき市医療センター)	教授	本多つよし
いわき市医療センター病理診断センター	センター長	浅野重之

【他の機関等への試料等の提供について】

該当しません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 古川茂宜
電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878
E-mail:s-furu@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人または代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座 担当 古川茂宜
電話:024-547-1290 FAX: 024-548-3878
E-mail:s-furu@fmu.ac.jp